

練二通信

No. 417
令和4年1月8日
練馬第二小学校
校長 濱中 一

学習のしつかりとした基盤を

校長 濱中 一

新しい年となりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年頭に子供たちは、ご家庭で今年も目標を決めたことと思います。練二小でも、始業式を終えて、子供たちは今年のもめあてを決めました。私はこれまで、目標をもって生活することが大切だ、目標を決めたら努力を継続することが大切だと、ことあるたびに投げかけ、実践しているかどうかを確かめてきました。

私の昨年の目標は「あいさつ」でした。日常の習慣として実践してきましたが、実はあいさつは、子供たちから元気をもらう源でもありました。今年も私は、子供たち一人一人と笑顔であいさつを交わしていこうと考えています。

そして新たに今年は、学習場面で子供たちとかかわっていくことを目標に掲げました。一年間かけて全学級で授

業を行うこと、算数授業や朝のきたえ学習で個別指導を積極的に行うことです。普段接している担任や担当の先生とは違った立場から、子供たちによい学びの場面をつくっていきたく考えています。

ここで、子供たちが学習に向かうしつかりとした基盤をつくるために、ご家庭にご協力いただきたいことがあります。

一つ目は、学習用具を確実に準備することです。箱型筆箱に削った鉛筆を毎日五〜六本整えてください。下敷きを持たせ、面倒がらずに下敷きを入れてノートに書かせてください。これらを面倒がらずに継続して行うことは、学力を向上させる上で、基礎中の基礎となります。学校では、学習環境を整える習慣を身に付けさせた上で、学習指導をしていきます。

二つ目、毎日欠かさず家庭学習を行うことです。練二小ではこれまで二年間、子供たちの言葉をつむいでつくる算数科授業の研究実践を深め、子供たちは互いにかかわり合って高まる体験を重ねてきました。そして算数以外のどの教科領域でも、子供たちはかかわり合いながら学びを深めてきました。

これらの学びの基礎となるのが個人の習熟学習です。学校の授業時間だけでは、十分な習熟は見込めません。家庭での習熟学習こそが、学校での学びの確実な定着につながります。既習事項を身に付け、次の学習で新たな発想をするために、毎日欠かさず家庭学習で学校での学びを習熟させてください。

練二小の子供たちが、学ぶ楽しさを体感し、高まる喜びを味わうために、『学習用具の準備』『家庭学習』には是非ご理解ご協力をお願いいたします。

一月二十一日、練二小は、練馬区教育委員会教育課題研究指定校として、算数科の研究発表を行います。状況が許せば、保護者の皆様にも、授業をご覧いただきたいと考えています。令和四年も、練二小は主体的に学び続ける子供を育み、『笑顔あふれる練二小』にしていきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

一月の行事予定

- 10 (月) 成人の日
- 11 (火) 給食始 午前授業
- 12 (水) A時程5時間授業 計測(6年)
- 13 (木) 計測(5年)
- 14 (金) 校内書き初め展始(〜26日)
- 17 (月) 社会科見学(6年) 計測(4年)
- 18 (火) お話の会(1年) 計測(3年)
- 19 (水) 計測(2年)
- 20 (水) お話の会(5・6年) 計測(1年)
- 21 (木) マラソン月間始 避難訓練
- 21 (金) 練二小研究発表
- 25 (火) 2年生火曜6時間授業始
- 26 (水) 6時間授業(3〜6年)
- 31 (月) 社会科見学(3年)
- (各校開催) 12日)

十二月の朝会より

○学習の心構え「長い鉛筆を五〜六本削っておく」「下敷きを必ず入れる」「ノートは折り曲げずに使う」、この二週間で必ず身につけること。担任の先生も真剣に声をかけます。

○九月に決めた目標を続けているか。最後の一周間、もう一度頑張ろう。終業式で同じことを聞きます。

○目標を頑張った人、達成できた人、手を挙げた人がずいぶん増えた。私の「笑顔で元気なあいさつをする」めあては、朝昇降口に出られない日もあったので八十点。三学期には、一年の初めめあてを決めて頑張ろう。

★今月の生活目標

・元氣よく挨拶をしよう

★週の生活目標

・すすんであいさつをする。
・友だちをたくさんつくる。

社会科見学を終えて

四年担任

十二月三日(金)に社会科見学に行ってきました。バスでまず向かった目的地は、玉川上水遊歩道。この遊歩道には、江戸時代に手で掘り進めた玉川上水の面影が残っています。子供たちは「こんなに深く長い水路を、機械を使わず、たった八カ月で掘ったんだ」と驚いていました。

次に向かったのが羽村取水堰。江戸市中に水を運んだ玉川上水のスタート地点を目の当たりにし「こんなに遠くから水を運んだんだ」と、玉川上水の壮大さを実感していました。

コロナ禍で校外学習が実施できない状況が続く、緊急事態宣言が明けてやっと実施できた社会科見学。実体験を通して学んだ子供たちの充実した表情を見られて、大変嬉しく思いました。



もちつき大会を終えて

六年担任

「今年はお餅がつける！」子供たちが楽しみにしていた、第四十三回のもちつき大会が行われました。薪の釜で餅米を蒸し、臼や杵を使っての餅つきを体験するという貴重な体験をしました。昨年度同様に、コロナウイルス感染症対策のため、つきたての餅を食べたり、三年生が貫井雛子の演奏をしたりする場をもつことができませんでしたが、六年生の子供たちは、地域の文化や伝統を知るとともに、地域社会の一員であるということを実感することができました。また、四十二回の歴史と多くの方に支えられている感謝の気持ちをかみしめながら、餅つき体験をさせていただきました。四人でリズムよく餅をつく、貫井伝統のつき方は難しかったようですが、周りの方々の温かい掛け声に合わせてつくことができました。また、鏡餅用に成型する際も、教えていただいたように、優しく丁寧に作ることができました。

もちつき大会に向けて、青少年委員の関口様には地域との連絡・調整を、地域の方々には道具の点検・準備、保護者の皆様には準備や下ごしらえ、使う道具の消毒などを早くからお手伝いいただきました。そして当日も朝早くから、たくさんの方々にお力添えをいただきました。本当にありがとうございます。

校内書き初め展

書写担当

「とめ」「はね」「はらい」などに気を付けて、文字を丁寧によく書くこと、伝統的な行事について知ることをねらいとして、一、二年生は硬筆、三年生以上は毛筆での書き初めに取り組みます。

一月八日(土)から十二日(水)までの間に校内で書き初めを行います。二学期末から一所懸命練習した文字に新年の新たな気持ちを込めて、一字一字丁寧に書きます。児童の作品は、一月十四日(金)から一月二十六日(水)の間に廊下に展示し、各クラスで全校の作品を鑑賞します。保護者の皆様の鑑賞は、新型コロナウイルス感染症予防のため、一月二十四日(月)から一月二十六日(水)の児童下校後の午後三時四十五分から午後四時四十五分までといたします。また、一月二十一日(金)の研究発表授業公開の時間にもご覧いただけます。来校の際は、保護者証を身に付け、中央昇降口で受付をして、マスク着用でご鑑賞ください。ご理解・協力のほどよろしくお願いたします。また、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により予定が変更になる可能性もごさいますことをご承知おきください。

例年、練馬区立美術館で行われていた練馬区小中学校連合書きぞめ展の合同開催は、運営上の都合により中止となりましたが、各校で代表作品の選考を行い、校内での展示を行います。詳しくは、後日配布するお便りをご覧ください。

連合図工展について

図画工作担当

毎年、年明け早々の大きな連合行事として、練馬区立小学校連合図画工作展があります。今年はコロナ感染拡大予防対策として代表児童作品による各校での分散開催となります。

一月三十一日(月)～二月十二日(土)、練馬第二小学校会議室で開催されます。合わせて選ばれた書写作品が連合書写展として同時に行われます。

区内全小学校の代表児童の作品が一同に会する図工展とはなりません。三学期に入って完成した作品なども展示します。

いつもの図工の時間に、様々な材料や道具を使い、自分らしく自分の「こうしたい」を存分に発揮し表現した力作です。出品されているお子さんの作品だけではなく、是非この機会に様々な子供たちの作品をご覧いただければ幸いです。



昨年度連合図工展の様子
(会場：本校会議室)